

■地域の見守り活動 新たに3社と協定締結

市は、「高齢者や障がい者の『地域見守り活動』に関する連携協定」を市内3社（長野ダイハツ販売㈱、(有)宗明会、(有)ペーパー・シャワーズまかせて安曇野）と締結し、10月16日、市役所で調印式を行いました。

市では昨年2月に13団体と同様の協定を締結しており、協定



新たに協定を結んだ団体の皆さん

市では今後も、高齢者や障がい者の見守り活動を強化するとともに、誰もが住み慣れた地域でその人らしい生活を維持できるように、保険・医療・福祉などの総合的なサービスを行う「地域包括ケアシステム」の構築を進めていきます。

■地域と関わり、人材を育成 穂高商業高校と連携協定締結

市と穂高商業高校（青木修一校長）は、包括的連携協定締結のため、10月9日、市役所で締結式を行いました。

この協定は、市と同校が包括的に連携・協力し、若者の視点や活動を通じた地域の活性化、商業の知識や技能に優れた人材のさらなる育成を目指すもので

宮澤市長は「安曇野の中核を担う人材の育成や地域課題の解決に向けた連携を期待したい」とあいさつしました。

市と地元高校との連携協定は南安曇農業高校に続き2校目となります。



連携協定書に署名

■2分の1成人記念 人権と平和を学ぶ

市内の小学4年生を対象とした「2分の1成人記念 安曇野市人権・平和特別授業『MINI EX-1』」が10月4日、豊科公民館で行われました。

この催しは、未来を担う子どもたちが10歳を迎える節目の年に、ふるさとへの愛着や児童同士の絆を深める機会として開催しました。



市歌を合唱する児童たち

宮澤市長は「平和の実現には一人ひとりの人権が守られることが必要。本日の授業が人権について『気付く』、平和な社会を『築く』機会となり、未来を担う皆さんが平和な安曇野を實現していただけることを期待している」とメッセージを送りました。

■明科南認定子ども園 起工式

明科南認定子ども園建設工事の起工式が11月9日、新園舎建設予定地の旧明科公民館敷地で行われました。

当日は、民生児童委員や施工者など約60人が出席。宮澤市長は、「地域に根差した子育て支援の拠点となるよう取り組んでいく」とあいさつしました。

同園は建設から42年が経過していることから、旧明科公民館

敷地と隣接する新たな土地を取得し、移転新築して整備するものです。

施設は鉄骨造平屋建て、延べ床面積約1816平方メートル。保育室は0〜2歳児用と延長保育室が各1部屋、3歳児用が3部屋、4・5歳児用が各2部屋で、定員は130人です。

旧公民館の解体や実施設計などを含めた事業費は約10億80

00万円、主な財源として合併特例債、施設整備事業債、合併特例交付金を活用します。

平成31年12月の完成、平成32年2月からの供用開始を予定しています。その後、現在の園舎の解体や駐車場整備を行い、すべての工事を平成32年度末までに完了する予定です。



完成イメージ